

海岸漂着物から学ぶ

ウニ殻でランプをつくろう

8月5日(火) 13:00~14:30 ★ 参加人数 子ども 22名、大人 13名 ★



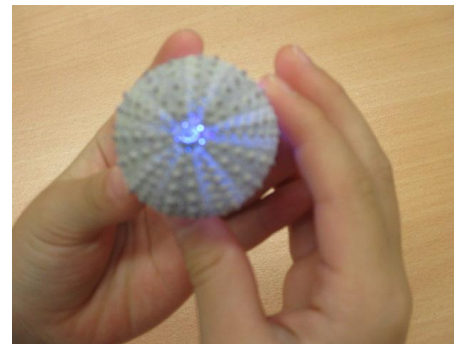
1. お話し

講師 ビオトープ・ネットワーク中部 宇野先生

- ・ビーチコーミングについて（楽しみ方・適した場所や時期）
- ・ビーチコーミングで見つかるモノ
貝殻、ウニ殻、カニ甲羅、イカの骨 人工物など
- ・遠州灘（篠原海岸）で拾ったものを紹介
- ・貝殻のひみつ
- ・ウニのひみつとトゲの取り方



- ## 2. 体験
- ①ウニ殻でランプづくり
 - ②フォトフレームを貝殻で飾り付け



3. 参加者の声

- ・ビーチコーミングは春と秋が良いことが分かった。秋になったら行ってみよう。
- ・潮回りは、大潮より、中潮くらいが拾いやすいことや上げ潮の時より下げ潮に入ってからの方が拾いやすいことが分かった。
- ・内湾と外湾では拾えるものが違うことが分かった。
- ・タカラガイは、きれいなので人気があることを知った。
- ・巻貝は、日本に約4500種類。世界には約8,500種類があることが分かった。あまりの多さに驚いた。
- ・遠州灘海岸でも貝殻などを拾えることが分かった。拾いに行ってみよう。
- ・ウニのトゲは、家庭用のキッチンハイターでとれることが分かった。

